

高技能人材の育成②

前回に続き、高技能人材育成がテーマです。

少子高齢化が進む中国において、介護人材は非常に貴重な存在です。それゆえ、上海市の中流階級層向け介護施設の介護職の平均月給は全産業の給与水準にあたる8〜10万円と高額です。

ある介護施設の管理者は、「日本の介護職の給与水準は案外低い。全産業の給与水準と比較した場合、上海市の方が、格差がない」と話していました。

また、民政局関係者は「将来日本と人民元の貨幣価値の格差がなくなれば、訪日を希望する中国人が減少するだろう」

と指摘しています。今後、日本という国を働く場として選んでもらえない可能性がさらに高まってしまいかもれません。

近年中国では専門家などのハイレベル人材の需要が高まっていますが、実際には技能人材不足が課題とされています。そこで上海市では2010

年より、「首席技師の育成と選抜千人計画」に着手し、高技能育成施設建設や助成金の付与等を通して、人材育成を図ってきました。同市には10

0カ所以上の高技能人材育成施設があり、これまでに300万人の技能人材を育成してきました。そのうち、高技能人材は約

日中間の互助促進を

3割（106・8万人）が占めていま

す。

さらに19年には「技能向上行動計画（18〜21年）」を発表し、技能労働者のうち高技能人材の割合を35%以上に拡大する目標を掲げ

ており、技能者の資質向上に注力しています。

中国では30年までに1000万人の介護人材を確保する必要があります。人材不足問題は日本と中国の共通テーマですが、両国の施策を上手く活用し合うことで、解決に繋がるかもしれません。

例えば中国は日本に技能実習生を積極的に送り出すことで、その人材は将来、高技能人材として活躍してくれるかもしれません。一方日本も、技能実習生が増えれば、介護現場の人材不足も解消されます。今後は国レベルでの更なる互助促進が不可欠です。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。